

事業報告

1. 講演会、公開講座等の実施に関する事業

(定款第4条第1項第1号事業)

(1) 講演会の実施

①常例午餐会

毎回当社社員を対象とし、原則として8月を除く毎週金曜日、当社大食堂において、各界の名士を講演者として招き、講演会を会食後に約1時間開催。ネットライブ配信も併せて実施。

() 内参加者数

本年度は以下の新型コロナウイルス感染対策を実施し、計40回開催。

- ・1月21日～4月1日：ネットライブ配信（無聴衆）による開催
- ・4月8日～6月3日：抽選による有人とネットライブ配信による開催
- ・6月10日以降：自由参加による有人とネットライブ配信による開催

1月21日(金)「和歌や俳句の翻訳を通して見る
日本文化の素晴らしさ」 (142名)
日本文学研究者 ピーター・J・マクミラン 氏

1月28日(金)「水と気候変動と持続可能な開発
—なぜ今ESG投資なのか—」 (150名)
東京大学総長特別参与
東京大学大学院工学系研究科教授
博士(工学) 沖 大 幹 氏

2月4日(金)「福澤諭吉を、魅せる —福澤諭吉記念
慶應義塾史展示館の開館を担当して—」 (148名)
慶應義塾福澤研究センター准教授
福澤諭吉記念慶應義塾史展示館副館長 都 倉 武 之 氏

2月18日(金)「台日100年の絆と未来に向けて」 (178名)
台北駐日経済文化代表処代表 謝 長 廷 氏

- 2月25日(金)「激動する国際情勢と日本の行方」 (198名)
(株)山猫総合研究所 代表取締役
博士(法学) 三浦 瑠麗さん
- 3月4日(金)「最近の世界経済の動向」 (163名)
～マクロ経済・金融を中心に～
(公財)国際通貨研究所理事長 社員 渡辺 博史君
- 3月11日(金)「感染症危機管理の3つの視点」 (157名)
～個人・国家・人類社会の安全保障～
参議院議員 社員 武見 敬三君
- 3月18日(金)「サイバー社会を文学する」 (140名)
東京大学副学長・附属図書館長
東京大学情報理工学系研究科教授 工学博士 坂井 修一氏
- 3月25日(金)「第二次ウクライナ危機の背景を読み解く」 (187名)
東京大学先端科学技術研究センター専任講師 小泉 悠氏
- 4月1日(金)「バイデン政権：現状と展望」 (180名)
慶應義塾大学総合政策学部教授
博士(国際政治学) 中山 俊宏氏
- 4月8日(金)「世界の潮流を見据えた、これからの日本の外交・安全保障政策」 (195名)
参議院議員 宇都 隆史氏
- 4月15日(金)「ビル&メリンダ・ゲイツ財団の目指す世界」 (175名)
ビル&メリンダ・ゲイツ財団日本常駐代表 柏倉 美保子さん
- 4月22日(金)「Post Coronaの世界と日本」 (185名)
(一財)キヤノングローバル戦略研究所理事長 福井 俊彦氏
- 5月13日(金)「『欲望の資本主義』から見える光景」 (167名)
～無形資産時代の可能性と憂鬱～
NHKエンタープライズ(株)エグゼクティブ・プロデューサー
東京芸術大学客員教授 丸山 俊一氏

- 5月20日(金)「新型コロナ、社会的にどれだけ問題なのか?」(151名)
一般社団法人パブリックヘルス協議会代表理事
日本医師会認定産業医・健康スポーツ医 木村盛世さん
- 5月27日(金)「今問われているもの (170名)
—自由・民主制と矜持—
元・衆議院議長 伊吹文明氏
- 6月3日(金)「父・宇沢弘文が提唱した (164名)
「社会的共通資本」を未来へ」
内科医
宇沢国際学館代表取締役 占部まりさん
- 6月10日(金)「米中露を中心とした安全保障と米国政局 (190名)
の裏事情」
ロールシャッハ・アドバイザー(株)
代表取締役 ジョセフ・クラフト氏
- 6月17日(金)「旅をしながら考えた私的文明論 (162名)
—炭化水素と人口増加の関係—」
ジャーナリスト 最首公司氏
- 6月24日(金)「海洋国家日本の針路」 (162名)
東海大学学長補佐・静岡キャンパス長
東海大学海洋学部教授 経済学博士 山田吉彦氏
- 7月1日(金)「地球温暖化と脱炭素のファクトフルネス」 (150名)
キヤノングローバル戦略研究所研究主幹
慶應義塾大学大学院特任教授 杉山大志氏
- 7月8日(金)「参院選展望と岸田政権のゆくえ」 (188名)
日本経済新聞社論説フェロー
社員 芹川洋一君
- 7月15日(金)「司法外交の課題と展望」 (167名)
衆議院議員 自民党幹事長代理
元・法務大臣 上川陽子さん

- 7月22日(金)「ウクライナ情勢と我が国の安全保障」 (169名)
元・陸上幕僚長 岩田清文氏
- 7月29日(金)「デジタル臨調行政調査会が実現する社会
インフラの大改造」 (143名)
衆議院議員 デジタル副大臣兼内閣府副大臣 小林史明氏
- 8月は暑中につき「休 会」
- 9月2日(金)「平成と令和の象徴のかたち」 (153名)
日本経済新聞社 総合解説センター編集委員 井上亮氏
- 9月9日(金)「台湾海峡の危機と有事：
何が起きるのか？何をすべきなのか？」 (220名)
東京大学東洋文化研究所教授
博士(法学) 松田康博氏
- 9月16日(金)「安倍晋三元総理亡き後、政治はどうなるか」 (212名)
政治ジャーナリスト 田崎史郎氏
- 9月30日(金)「ウクライナ危機：ロシアの外交戦略と
国際社会」 (219名)
慶應義塾大学総合政策学部教授
博士(政策・メディア) 廣瀬陽子さん
- 10月7日(金)「米中間選挙と世界経済の行方」 (196名)
双日総合研究所チーフエコノミスト 吉崎達彦氏
- 10月14日(金)「美に生きる」 (163名)
画家・東京芸術大学名誉教授 絹谷幸二氏
- 10月21日(金)「ウェルビーイング経営の現在と未来」 (143名)
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授
兼ウェルビーイングリサーチセンター長 博士(工学) 前野隆司氏
- 10月28日(金)「安倍晋三元総理を偲んで」 (179名)
自由民主党憲法改正実現本部最高顧問 高村正彦氏

- 11月4日(金)「この父ありて一昭和の父と、運命の娘」 (148名)
 ノンフィクション作家 梯 久美子さん
- 11月11日(金)「国家安全保障戦略に望むもの」 (126名)
 前・国家安全保障局長 北 村 滋 氏
- 11月18日(金)「現下の代議制民主主義の機能不全とその克服」 (156名)
 同志社大学政策学部教授
 博士(学術) 吉 田 徹 氏
- 11月25日(金)「忍者を追う歴史学」 (181名)
 国際日本文化研究センター教授
 博士(史学) 磯 田 道 史 氏
- 12月2日(金)「ショパンとショパンコンクール、私の出逢った素晴らしい友人達(ピアノ演奏付)」 (157名)
 ピアニスト 海 老 彰 子 さん
- 12月9日(金)「いま中国で何が起きているのか?」 (212名)
 ～「習近平体制」を読み解く～
 神田外語大学教授 興 梶 一 郎 氏
- 12月16日(金)「ノーベル賞の世界」 (160名)
 (一財)交詢社 理事長 安 西 祐一郎 君

②交詢講座

原則として年4回、当社社員を対象とし、当社会議室並びに特別専用室において、当社事業委員会主催により、各界の専門家を招き、勉強会として講演と質疑応答を交え、午後6時より約1時間半程度実施。本年度は新型コロナウイルス感染対策として参加人数を制限し全4回の内以下の通り3回を開催。

() 内参加者数

- 5月17日(火)「中国はどこへ向かうのか?」 (57名)
 ～習近平体制の現状と課題～
 神田外語大学教授
 興 梶 一 郎 氏

9月20日(火)「大丈夫か? 岸田政権」 (52名)

産経新聞社 特別記者兼上席論説委員

乾 正 人 氏

12月7日(水)「柔道を通じて 我を磨く」 (28名)

宗家花火鍵屋15代目当主・国際柔道連盟審判員

天 野 安喜子 氏

(2) 公開講座の実施

①公開医療講座 (幸齢化を支える医学シリーズ)

年4回、中央区在住・在勤者を対象に、当社事業委員会主催で中央区「中央区民カレッジ」の連携講座として、中央区築地社会教育会館において慶應義塾大学医学部の先生等その分野で権威のある先生を講師に招き、各専門分野について講演と質疑応答を交え、約1時間半実施。広報として、「区のお知らせ中央」の3月号、8月号に開催予定を掲載。併せて毎回実施日に先がけて参加勧誘を兼ねた開催案内を作成し、当社より既受講者に、中央区区民部 文化・生涯学習課より中央区の各公共施設に対し配布。

また、同内容を中央区公式HP、当社HPに掲載し周知を図る。

実施日	演 題	講 師	参加者数
4月13日(水)	腰痛・坐骨神経痛の原因と対策	慶應義塾大学病院病院長 慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 松本 守雄 教授	47名
6月22日(水)	「医の原点」～都民の命を守る救急医療・災害医療～	慶應義塾大学病院副病院長 慶應義塾大学医学部 救急医学 佐々木 淳一 教授	37名
9月7日(水)	歯を無くしてしまったら、貴方ならどうする? ～歯を失った部分に歯を作る三つの方法～	聖路加国際病院 歯科口腔外科 小澤 靖弘 部長	44名
11月2日(水)	超高齢社会における近未来の運動器再生医療	慶應義塾大学医学部 副医学部長 整形外科学教室 中村 雅也 教授	46名

②公開医療講座冊子の発行

公開医療講座（幸齢化を支える医学シリーズ）については既往実施済の講演録を再編集し順次冊子にまとめ、東京都所在の公立図書館、高齢者施設等公益関係先、地元銀座の各町会、公開講座参加者等に幅広く配布。次回発行は令和2年度、3年度の講座の中止を受け令和5年度を予定。

③公開文化講座

年2回春・秋、中央区在住・在勤者を対象として、当社事業委員会主催により、当社大食堂において、各界の名士を招き、各専門分野についての講演等を約1時間実施。広報として当社より既受講者ならびに銀座地域の各町会等に対し、開催案内を配布。また、同内容を当社HPに掲載。

実施日	演題	講師	参加者数
5月9日(月)	江戸名所めぐり —江戸期の絵画と版画 に遊ぶ—	慶應義塾大学文学部教授 慶應義塾大学アート・センター所長 内藤 正人 さん	61名
10月3日(月)	音楽におけるエンターテインメントと芸術	作曲家 千住 明 さん	67名

(3) オープンフォーラムの開催について

一般公募の方々を対象に、当社主催、産経新聞社後援により、第十三回交詢社オープンフォーラムを大手町サンケイプラザに於いて、講演およびパネルディスカッションをあわせ、約3時間開催。今回は新型コロナウイルス感染対策として人数を絞ったリアル開催ならびにネットライブ配信によるハイブリッド開催を実施。講演録として交詢雑誌増刊号を8月に発行するとともに概要を当社HPに掲載。

実施日	テーマ	講演者等	参加者数
6月5日(日)	「緊張する台湾海峡情勢に日本はいかに対応すべきか」	①講演： 安倍 晋三氏 ②パネルディスカッション： (パネリスト) 小野寺五典氏 三浦 瑠麗氏 宮家 邦彦氏 (コーディネーター) 反町 理氏	1,222名

2. 機関誌等の発行に関する事業

(定款第4条第1項第2号事業)

(1) 交詢雑誌の発行

講演会・公開講座の内容、その他当社の事業活動の広報をはかるため、原則として8月を除き毎月1回、年11回発行。発行部数は、毎回約2,300部。

3. 各種文化事業の実施ならびに援助に関する事業

(定款第4条第1項第3号事業)

(1) 「音楽と食事の夕べ」の実施

年2回夏・冬、当社社員ならびにそのご家族等を対象として、当社大食堂に於て夕食会ののちアーティストによる約1時間のコンサートを開催。新型コロナウイルス感染対策として、参加人数の制限を実施。

実施日	出演者	参加者数
7月18日(土)	神尾真由子さん (ヴァイオリニスト)	72名
12月17日(土)	田部京子さん (ピアニスト)	71名

(2) 「グランド・コンサート」の実施

当社社員ならびにそのご家族等を対象として、当社大食堂に於て約1時間のコンサートを開催し、ネットライブ配信を実施。新型コロナウイルス感染対策として、参加人数の制限を実施。

実施日	出演者	参加者数
9月26日(月)	葵トリオ (ピアノ三重奏)	75名

4. 施設の管理運営及び貸付けに関する事業

(定款第4条第1項第4号事業)

(1) 交詢ビルディング

当社の区分所有部分(7階~10階)について、倶楽部施設として当社社員等に供すると共に、運用床を三井不動産(株)に一括貸付。管理業務も同様に三井不動産(株)に委託。

(2) 倶楽部施設の運営

倶楽部内の諸施設を当社社員等の使用に供すると共に、倶楽部食堂は(株)パレスホテルに運営を業務委託し、当社社員ならびに同伴者等に対し食事の提供を実施。また新型コロナウイルス感染拡大に対処すべく様々な防止策を設け運営。

5. 諸委員会の開催

(定款第4条第1項第5号事業)

定款第4条の諸事業を実施するため、理事会・評議員会に加え、下記の諸委員会を月例もしくは必要の都度開催。

事業委員会

総務委員会

入社選考委員会

食堂委員会

文化委員会

以上